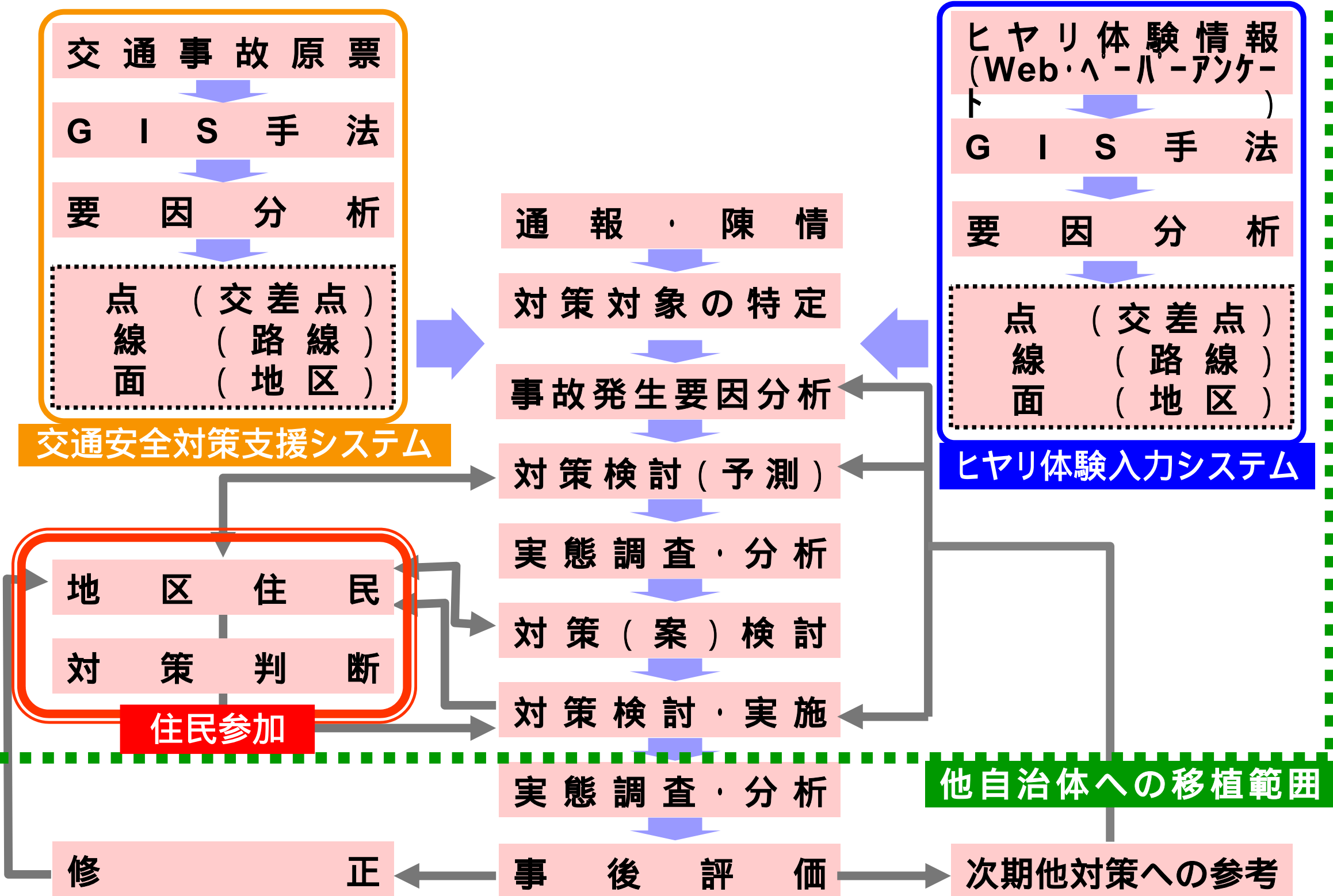


地方自治体向け交通事故半減モデル(鎌ヶ谷モデル)



対策支援システムの隣接自治体への移植

人口・事故件数から見た、鎌ヶ谷市(103,234人)と移植先自治体の都市規模の比較

- **市川市の都市規模は、およそ鎌ヶ谷市の4倍程度**
- **白井市の都市規模は、およそ鎌ヶ谷市の1/2程度**

鎌ヶ谷市より、都市規模の大きい自治体と、小さい自治体を隣接する自治体より選定

システム移植の経過

	市川市	白井市
ヒヤリ体験入力システム	・ <u>移植完了</u> 、 <u>運用中</u> ・ DB構築中	・ <u>移植完了</u> ・ 3月中に運用開始予定
交通安全対策支援システム	・ DB構築中	・ 事故データ入手中 ・ 4月より運用開始予定

実務者向け教育プログラムの開発

移植先の各自治体の交通安全を担当し得る専門技術者が、市民参加型交通安全対策事業を進めるうえで、様々な疑問点や問題点が発生し、資料収集や問い合わせが必要となる。

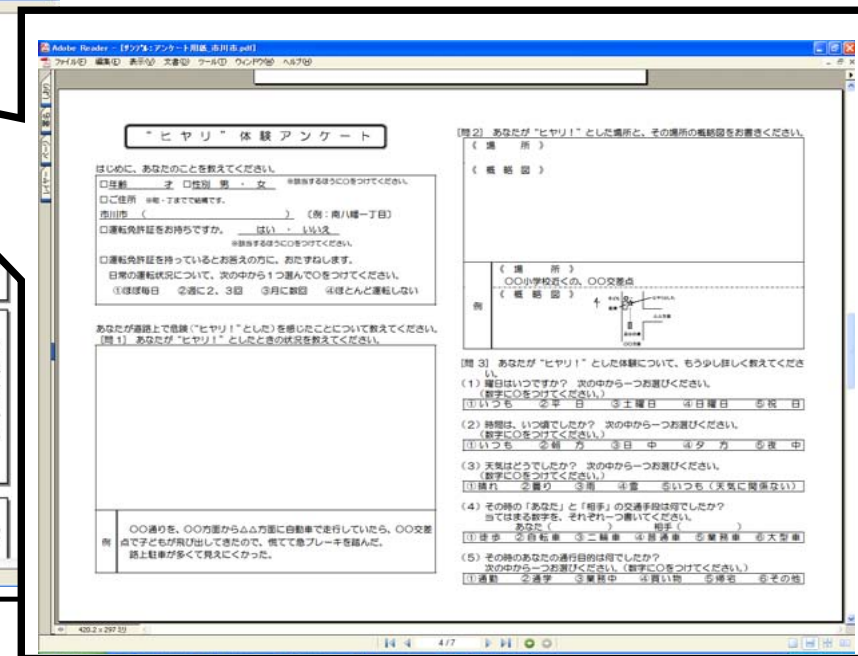
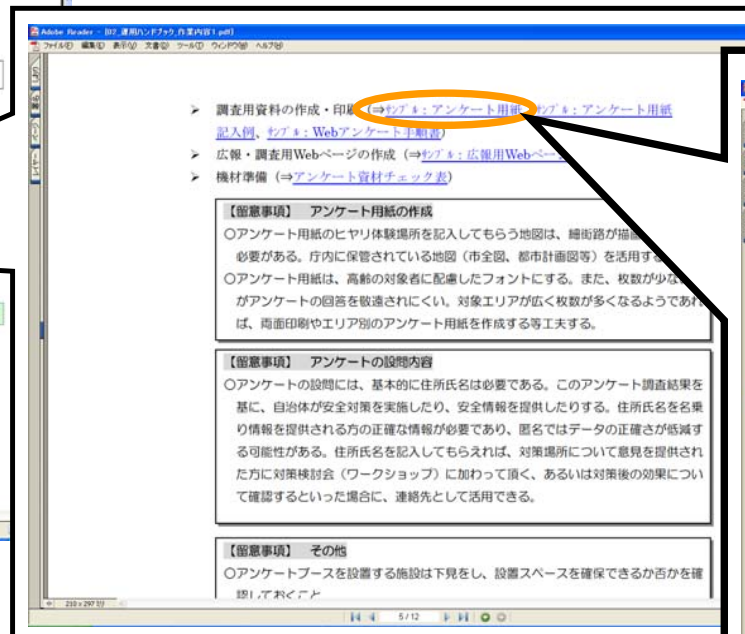
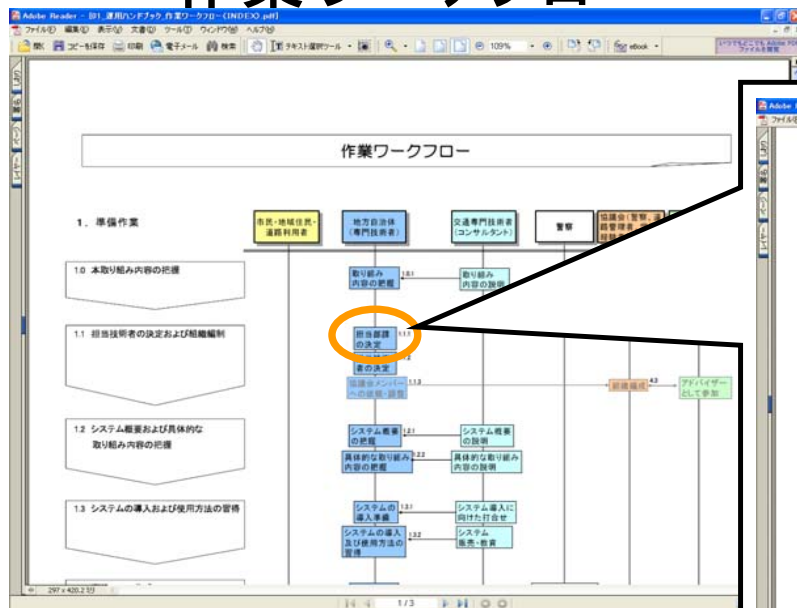


解決策として… **ワークフローを標準化・ナレッジDBを構築**

作業ワークフロー

作業内容

様式・事例・マニュアル集



各利用者が作業ワークフローを基点として、ハイパーリンクを辿って目的の情報を獲得することができる。

情報収集・提供方法の拡充

ヒヤリ体験入力システムおよび交通安全対策支援システムの課題や改良点を検討

最新のWebGISの動向を広範囲に調査し、各種ASPサービスの「機能・特色」「運用方法」「価格」等について、提供担当者との打合せ協議を実施

改良型システムの開発に着手
平成18年度前半に完了予定